

## 平成 27 年度 産業建設委員会 管外視察（案）

1 日程 平成 27 年 7 月 8 日（水）～9 日（木）

2 視察目的

当委員会が引き続き所管事務調査として取り組む事項「市の観光施策について」と「遊休農地・耕作放棄地対策について」に関し、先進的に取り組み、実践している事例及び産業振興策に関し、他の機関とも連携したワンストップ式対応の取り組みなど、先進的な実践事例を視察し、今後の市政の方向性を探るとともに見識を深める。

3 参加者について

議員 7人、理事者側職員 3人、事務局随員 2人 計 12人(予定)

職 名		氏 名
産業建設委員長	議員	永井 一英
産業建設副委員長	議員	湊 猛
産業建設委員	議員	湯澤 啓次
産業建設委員	議員	森本 政人
産業建設委員	議員	小倉 高広
産業建設委員	議員	清水 勇
産業建設委員	議員	原 和世
産業経済部長	理事者側	高田 修
建設部長	理事者側	井坪 憲俊
上下水道局長	理事者側	松田 昌二
議会事務局	局長	土屋 寿憲
議会事務局	随員	筒井 雄二

4 視察先及び視察項目 ※時間は予定

(1) 石川県 七尾市〔8日(水) 13:30～15:30〕

ア 視察項目：①道の駅能登食祭市場の取り組みについて

②企業参入による耕作放棄地活用の取り組みについて

イ 七尾市概要

人口 55,782人（平成27年5月末現在）、世帯数 22,164世帯

面積 318.32km<sup>2</sup>

ウ 事業概要等

- ①道の駅「能登食祭市場」は港の再生と地域活性化の核として平成3年にオープンした第三セクターで、年間約90万人の入込客があり、市民はもちろん多くの観光客でにぎわっている。
- ②市でモデル地区を定め、地元働きかけ企業参入支援組織を設立。企業の農業参入理解と地域の将来展望の合意を図るとともに、特定法人貸付事業を導入し、地産地消により食品加工と農業の融合による新しい企業形態を目指した地元食品加工会社の参入を果たした。

エ 視察の視点

- ①施設建設の経過や現状について  
入場者数の変遷等と今後の課題について  
プロモーション等について
- ②取組みの経過について（それぞれのマッチング等）  
今後の課題等について（他地区の取り組みや事業拡大など）

(2) 富山県 高岡市〔9日(木) 9:30~10:30〕

ア 視察項目：新産業創造プラットフォームの取り組みについて

イ 高岡市概要

人口 175,177人（平成27年5月末現在）、世帯数 66,709世帯  
面積 209.42km<sup>2</sup>

ウ 事業概要等

市と関連機関とが連携し、新分野進出や新事業展開を図る意欲ある企業に対し、「創業」「研究開発」「販路拡大」など企業ニーズに応じたワンストップ対応を実施することで、あらたな産業の創造を図る。

エ 視察の視点

- ・取組みの経過について（具体的な成果等）
- ・関連団体との連携に関して考察は
- ・人材育成の観点での取り組みは
- ・今後の課題は

(3) 岐阜県 高山市〔9日(木) 14:00~15:30〕

ア 視察項目：観光施策について  
外国人観光誘客の取り組みについて

イ 高山市概要

人口 91,170人（平成27年6月1日現在）、世帯数 35,259世帯  
面積 2,177.61km<sup>2</sup>（日本一広い市）

ウ 事業概要等

年間に300万人を越える観光客の入込のある観光地であるが、海外の旅行ガイド本でも高評価されたことなどにより、昨年の外国人観光客（宿泊者）は28万人で、過去最多だった前年の22万5千人を24%上回った。

エ 視察の視点

- ・観光プロモーションについて  
    関連団体、他自治体との連携した取り組みについて
- ・外国人誘客への対応について  
    プロモーションの手法や受け入れ態勢の整備について
- ・今後の課題は